



Cat® 950M Z

ホイールローダ

950M Z ホイールローダのエンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU ステージ V、韓国 Tier 4 Final、日本オフロード法 2014 年基準の各排出ガス基準に適合しており、定評のある電子コンポーネント、燃料コンポーネント、エアコンポーネント、後処理コンポーネントが組み合わされて装備されています。定評のあるテクノロジーを体系的かつ戦略的に採用することにより、生産性、燃料効率、信頼性、耐用年数に対するお客様の高い期待にお応えします。システム統合を深めることで、車両の性能は維持したまま排出ガス削減、性能向上、燃費向上を実現し、シームレスな操作が可能になります。M シリーズローダは、K シリーズローダ比で 10 %、先行機の H シリーズ比で最大 25 %、燃料効率が向上しています*。オプションのコンフィギュレーションもご用意しています**。

高い信頼性、生産性、燃料効率

- K シリーズ比で 10 % 以上燃料効率が向上*
- H シリーズ比で最大 25 % 燃料効率が向上*

リンケージおよびワークツール

- パフォーマンスシリーズのバケットおよび多彩なワークツール
- クラス最高の視認性を誇る Z バー
- Fusion™ « ゼロオフセット » カブラ (オプション)

エンジンおよび後処理機能の進化

- Cat® C7.1 エンジン
- Tier 4 Final、ステージ V、韓国 Tier 4 Final、日本オフロード法 2014 年基準の各排出ガス基準に適合
- 生産性の高いエコノミーモード

トランスミッションの進化

- 5 速パワーシフトトランスミッション
- ロックアップクラッチトルクコンバータとロックツーロックシフトを搭載
- スプリットフローオイルシステムとマルチグレードオイル採用

アクスルの進化

- 走行中にも利用できるディスクタイプのフロントディファレンシャルロック (フロントおよびリアの完全自動制御オプション)
- キャリパディスクパーキングブレーキ

次世代型油圧システム

- 次世代型メインバルブ
- デュアルアクチュエータ装備の次世代型ライドコントロールシステム
- 吐出量の向上した次世代型の作業装置ポンプ
- フルフローおよび連続オフラインフィルタ
- 油圧機能を同時使用可能なロードセンシング油圧システム
- 第 3 および第 4 機能 (オプション)

容易なオペレーション

クラス最高のオペレータ環境

- 全周にわたり最適な視界を確保
- ステアリングホイール (E-H ジョイスティックステアリングオプション)
- コントローラー体型のタッチスクリーン式付き多機能カラーディスプレイ
- 階段状の乗降口
- シート取付けで操作の容易な、電気-油圧式の作業装置コントロール
- 自動空調制御
- オペレータ騒音レベルの低減

先進の Cat テクノロジー

- Product Link™ などの LINK (リンク) テクノロジーにより、オンライン VisionLink® ソフトウェアにより車両のモニタや生産管理が可能
- Cat Production Measurement (オプション) などの PAYLOAD (ペイロード) テクノロジーにより、ペイロードの測定と生産性の最適化が可能
- リアビジョンカメラなどの DETECT (ディテクト) テクノロジーにより、作業員の安全を確保し、オペレータの生産性向上を実現

サービスアクセス性

- 側面と後方にドアを備えた、角度調節可能な一体型フード
- 油圧コンポーネントと電気コンポーネントを集中的に配置したサービスセンタ
- ウインドシールドのクリーニングプラットフォームと、結んで固定するハーネス

* 燃料効率は、燃焼燃料量当たり運搬できる資材の重量で測定します。車両仕様構成、オペレータの操作技術、車両の用途、天候などの要因により、結果が変わります。

** オプションのコンフィギュレーションおよび車両は地域により異なります。詳細については、Caterpillar の担当者にお問い合わせください。



オフロード法 2014 年
基準適合

Cat® 950M Z ホイールローダ

エンジン

エンジンモデル	Cat C7.1
最大定格出力 (グロス) (2,100 rpm 時) - SAE J1995:2014	187 kW
最大定格出力 (グロス) (2,100 rpm 時) - ISO 14396:2002	186 kW
最大定格出力 (グロス) (2,100 rpm 時) - ISO 14396:2002 (メートル単位)	253 hp
最大定格出力 (ネット) (2,100 rpm 時) - SAE J1349:2011	171 kW
最大定格出力 (ネット) (2,100 rpm) - ISO 9249:2007	171 kW
最大定格出力 (ネット) (2,100 rpm 時) - ISO 9249:2007 (メートル単位)	232 hp
ピークトルク (グロス) (1,300 rpm 時) - SAE J1995:2014	1,235 N·m
ピークトルク (グロス) (1,300 rpm 時) - ISO 14396:2002	1,231 N·m
最大トルク (ネット) (1,300 rpm 時)	1,163 N·m
総行程容積 (排気量)	7.01 L

質量

運転質量	18,211 kg
・質量は、ブリチストン 23.5R25 VJT L3 ラジアルタイヤ、油水類満タン、オペレータ乗車、標準カウンタウエイト、Product Link (プロダクトリンク)、手動ディファレンシャルロック / オープンアクスル (フロント / リア)、パワートレインガード、セカンダリスティアリング、騒音低減パッケージ、および BOCE 付き 3.4 m ³ ゼネラルパーパスバケットを装備した車両仕様構成の場合のものです。	

バケット容量

バケットラインアップ	2.5 ~ 9.2 m ³
------------	--------------------------

トランスミッション

前進 1 速	6.9 km/h
前進 2 速	12 km/h
前進 3 速	19.3 km/h
前進 4 速	25.7 km/h
前進 5 速	39.5 km/h
後進 1 速	6.9 km/h
後進 2 速	12 km/h
後進 3 速	25.7 km/h
・旋回半径が 787 mm の標準 L3 タイヤが装着された標準車両で、バケットが空荷のときの最高走行速度。	

騒音

冷却ファン速度が最大値の場合：	
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	70 dB (A)
外部音響パワーレベル (ISO 6395:2008)	107 dB (A)
外部音圧レベル (SAE J88:2013)	75 dB (A) *
* 距離 15 m、前進 2 速の場合	
冷却ファン速度が最大値の 70 % の場合：	
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	69 dB (A)
外部音響パワーレベル (ISO 6395:2008)	104 L _{WA} **
** EU 指令 "2000/14/EC" ("2005/88/EC" による改定)。	

運転仕様

静止転倒荷重 - 全 40 °回転時 - タイヤたわみあり	10,926 kg
静止転倒荷重 - 全 40 °回転時 - タイヤたわみなし	11,624 kg
掘削力	152 kN
・"質量" の項で定義した車両仕様構成の場合。 ・ISO 14397-1:2007 第 1 ~ 6 項に完全適合 (計算と試験間に 2 % 検証を義務付け)。	

交換容量

燃料タンク	275 L
尿素水タンク	16 L
冷却系統	59 L
クランクケース	22 L
トランスミッション	43 L
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - フロント	43 L
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - リア	43 L
作動油タンク	125 L

油圧システム

作業装置ポンプタイプ	可変アキシャルピストン
作業装置システム : 最大ポンプ吐出量 (2,340 rpm 時)	322 L/min
作業装置システム : 最大動作圧力	27,900 kPa
油圧サイクルタイム - 合計	9.5 秒

寸法

	標準リフト	ハイリフト
全高 (フード最上部)	2,697 mm	2,697 mm
全高 (マフラー上端)	3,414 mm	3,414 mm
ROPS 頂部までの高さ	3,445 mm	3,445 mm
最低地上高	368 mm	368 mm
リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで	1,905 mm	2,055 mm
リアアクスルの中心線からヒッチまで	1,675 mm	1,675 mm
ホイールベース	3,350 mm	3,350 mm
全長 (バケットなし)	6,938 mm	7,439 mm
ヒンジピン高さ (運搬時高さ)	663 mm	765 mm
ヒンジピン高さ (最大リフト時)	3,995 mm	4,490 mm
リフトアームクリアランス (最大リフト時)	3,410 mm	3,794 mm
ラックバック (最大リフト時)	60 °	66 °
ラックバック (運搬時高さ)	49 °	54 °
ラックバック (地上時) *	41 °	45 °
車両全幅 (積載時)	2,822 mm	2,822 mm
トレッド幅	2,140 mm	2,140 mm
・すべての寸法は、ブリチストン 23.5R25 VJT L3 ラジアルタイヤ装着時の概算値です。		

Cat 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト (www.cat.com) をご覧ください。

© 2021 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ、Product Link, Fusion, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLink は Trimble Navigation Limited の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量 3 トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量 3 トン以上の「車両系建設機械 (整地、運搬、積込、掘削用および解体用)」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1741-01 (2020 年 11 月)
翻訳 (2021 年 1 月)
AJXQ1741-00 の改訂版
(Japan)

